

久木小学校区住民自治協議会・広報誌

住民協ひろば

第16号（準備会から通算第37号）

発行日 平成30年8月4日

発行所 逗子市久木2-1-1

久木小学校区住民自治協議会

発行人 田倉 由男

・ ・ 市長との対話集会開催：久木会館 ・ ・
8・21（火）、10時～11時30分 参加者は直接会場へ
主テーマ：住民協の現状と課題、今後の会館運営と活用

30年7月度役員会

7月7日（土）、13:30～15:30、久木

会館で21名（うち役員12名）が参加して開催されました。審議内容は次の通りです。

1. 減災部会長に金子春夫様が就任

減災部会長は事務局長が部会長代行として兼務してきましたが、部会活動に支障が生じる恐れがあるため、専任の部会長が望まれていました。部会で協議の結果、金子春夫会員を新たな部会長に推薦することとし、役員会に提案し承

認されました。

金子様は、山の根自治会の自主防災組織である防災会議（約20名で編成）の議長代行（議長は龍村自治会長）を長らく担当されており、又本年5月まで久小校区避難所準備委員会の事務局長を担当されていました。

2. コミュニティサービスの事例研究報告

山の根地域でコミュニティサービスの事例研究が始まり、実践して見えてきた課題等について、龍村ふれあい部会長から報告がありました。事例は、入浴見守り、話し相手、買い物、ごみ出し相談、草花の水やり、庭木伐採等があり、実践の中から色々な課題が見えてきました。有償であることがなかなか理解されない。料金を

まず決めることが必要だ。話し相手といったサービスはサービスの中から色々な他の課題に広がっていくことがありそうだ。そこでそれらを整理していくコーディネーターが必要であり重要になる。

広域に広がるとそれなりのコーディネートできる人材が必要になる、等々。ゆっくりですが着実に進んでいきます。

3. 「私の（考える）地域づくり」のまとめ方に関する件

住民協ひろば・特別号第2号（全戸配布広報誌）の作成要領とメインテーマとなる標記の座談会の進め方を討議し、大枠が決まりました。住民協が進めている地域づくりの方向性を地域住民と情報共有する趣旨で進めます。

日時と場所：8月4日（土）、10:00～12:00、久木会館

参加者：田倉（座長・山の根在住）、小田（ハイランド）、小林（久木）、龍村（山の根）、石井（達）（山の根）、東（久木）、及川（久木）、小橋（ハイランド）、門脇（久木）の皆様。（地域、組織・個人、世代等を考慮

して以上の方々に依頼しました。)

役員会からのお知らせ

1. 第15回福祉教育セミナーにパネラーとして小田鈴子様が出席

「地域共生の文化づくりに向けて」をメインテーマとして開催される第15回福祉教育セミナーに、パネラーとして小田鈴子様（ハイランド在住）が出席されて、「地域住民が考えるこれか

らの地域とは」の表題で、住民協のふれあい部会で話し合っていることを中心に話をされます。

8月8日（水）10:00～16:30、市民交流センター。

2. 会館祭中止のお知らせ

今秋に実施を計画していた久木会館祭は、諸般

の事情から中止することに決まりました。ご了承ください。

3. 会館を避難所として活用

災害発生の際の避難所として、久木会館を久木小学校と一体的に運営していくことが決まりました。

活用の方法や備蓄等を、今後避難所準備委員会と会館で、速やかに決定していくことになります。

4. 住環境形成計画の策定に関して意見交換

標記の件に関して、8月度役員会で、市・まちづくり景観課と意見交換を行います。

尚、住環境形成計画とは、当市の歴史や従来の良い景観を守りながら、今後の人口維持や少子高齢化社会等の変化に対応したまちづくりを計画的に進めようという施策です。

5. 空き家の活用を市が支援

子育てサークル、高齢者サロン等、地域団体が空家を活用したい場合、市が支援できるよう

7月度から制度化しました。詳細は、市民協働課へお問い合わせください。

6. 会館のコミュニティセンター化の件

31年度から会館を地域活動センターからコミュニティセンターに変更する計画が進めていますが、一方で財政難やその他の困難事情が

あり、計画通りの進行が危惧されています。そこで、地域活動センターのままで、コミュニティセンターの機能を備えるようにできないか、今後市と継続的に協議していく事になりました。

7. 第6回（6月29日開催）みんなの食堂の報告

メインディッシュはカレーライス。参加者131名（子ども71名、大人39名、スタッフ21名）収入37,850円、支出17,720円でした。今回の特徴は山の根親交会と山の根自治会地域

から高齢者のまとまった参加があり、全世代の交流の場となったことと、大幅な黒字となったことです。

地域別の参加者は次の通りです。久木：73、山の根：45、ハイランド：4、その他：9。

部会報告

ふれあい部会報告（30・6・25）

報告者 龍村敦子

前回の部会5月29日以降、山の根地区のニーズを事例として1カ月実践した。サービス事例はつぎの通り。

- ①入浴中の見守り 2回
- ②話し相手 1回
- ③買い物 1回
- ④ゴミ出し相談 1回
- ⑤鉢物水遣り相談 1回
- ⑥庭木伐採相談 1回（7月実施予定）

試験的なサービス実施の中からも様々な課題が見えてきた。

課題：1、有償サービスと口頭で説明してもわかりにくい。チラシを作成する必要がある。

2、料金もはっきりしていないので、今回の部会でつぎの通り決定した。

30分 300円 1時間 600円が基本。

3、サービス内容が事務的に割り切れるニーズ、例えば庭木の伐採など、仕事の内容がはっきりしているもののコーディネートはさほど難しくはない。しかし、話相手などという情緒的なニーズの中には、生活課題も盛り込まれるので、そこから新たな生活支援ニーズが生まれる可能性がありそうだ。そこでそれを拾ってきたサポーターとコーディネート役とのケース会議のようなものが必要であることが想像される。

4、今の試験的ニーズ程度は自治会単位のコー

ディネートで間に合っているが、すぐに広範囲のコーディネートする人材が望まれるようになるだろう。

5、さらに、料金チラシを作った際の連絡先を試験的実施の場合は自治会内の個人宅でかまわないとしても、将来的にはどこにするかまだ何も決まっていないことに気づいた。

以上、を踏まえ次回には料金ちらし案を作成してくることになった。

歩みはゆっくりではあるが、実践しながらの仕組みづくりであるから、みんなで考えやすく着実に進んでいると思う。

なお、この日は最初の1時間に「たすけあい横須賀」を立ち上げた細野清美さんの話を聞く機会を設けました。細野さんは介護保険が始まる前の1988年から閉会する2012年までの24年間の横須賀で住民同士の有償たすけあい活動を立ち上げ、中心になって活動されたかたです。全てにおいてのスケールの大きさや専門性など、我々の活動のめざすところとはおよびもつかない完成度の高い活動ですが大変参考になるお話でした。刺激を受け、ますますがんばってみよう！とふれあい部会員は心を引き締めたことと思います。

遠いところをありがとうございました。

編集後記

約2年間にわたり連載してきた「温故知新」は、今回をもって一応終了といたします。第14号（30・6・2発行）掲載の「其の15・公余探勝図V」がシリーズとしては最後です。

「住民協ひろば」は、前身の「準備会ひろば」から数えて37号と号を重ねてきました。27年7月から発行されているので早3年が経ちました。やがて、記録として「温故知新」の役立つ資料となっていくことを期待します。新たに、減災に関する連載を考慮しており、準備ができ次第、「グループ紹介」と共に連載していく計画です。

コミュニテイサービスの事例研究が特定の地域で始まりました。私も実施例に参加しました。

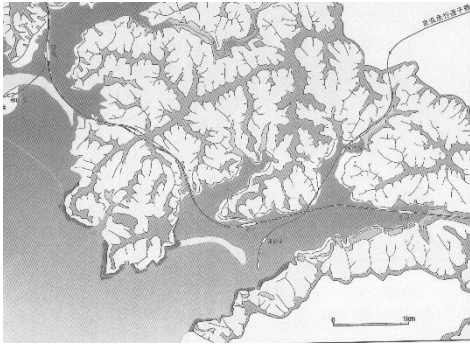
仕事は問題なく仕上がりましたが、無償から有償へと頭を切り替えるには戸惑いがあり、仕組みの中で戸惑いが混乱にならないようにする工夫が必要だなと感じました。

事務局長 鈴木 為 之

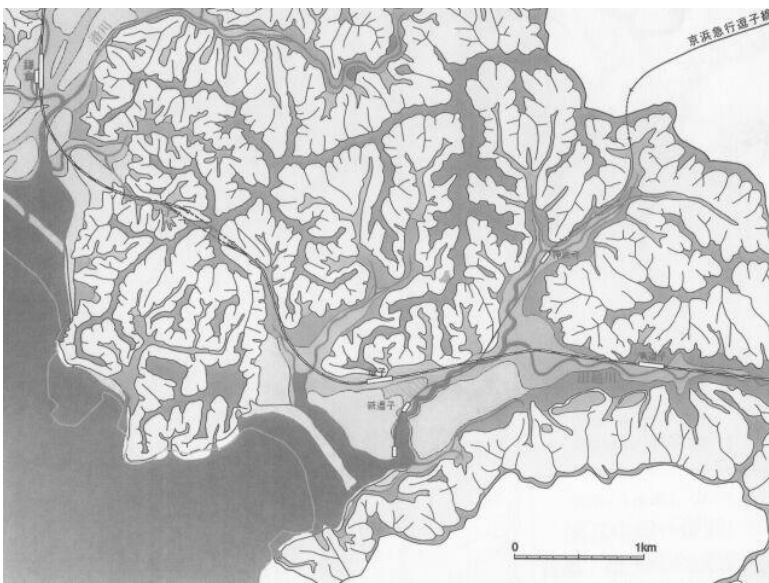
温故知新 その十四 海進・海退Ⅲ

故（ふる）きを温（たず）
ねて新しきを知る

前回に引き続いて鎌倉逗子地形発達史（上本進二）を元に、逗子の海岸線の変遷を見てみます。



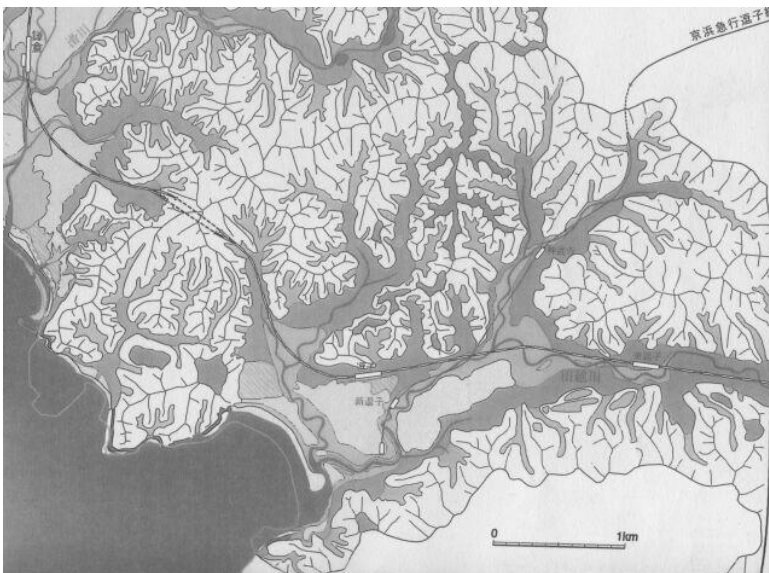
今回はより新しい時代についてみることにします。参考までに最も海進の進んだ縄文海進時代の地図を上げておきます。左上の地図は、縄文末期から弥生前期（2000年～2400年前ごろ）の地図、この地で人の活動が始まったころだと思いますが、海岸線はまだ今の海岸線（地図上で薄い白線で示されている）よりまだ数百メートル後退しています。海岸



には天橋立のような砂丘が伸びており、その端に田越川の入り口が開いています。砂丘の内側には、浜名湖のような内海があったのでしょうか。内海の端は久木まで伸びています。逗子駅付近は砂丘が発達していました。

弥生人が久木や山の根の山麓に住み始めたのはこのころでしょうか。桜山の持田遺跡もこのころから生活が始まったのではないのでしょうか。

左下の地図は中世（1200～1600年ごろ）の地図、田越川などの流れは今とほぼ同じになっていますが、蛇行していることは洪水により流れが変わっていたということでしょう。今は消えてしまっている桜山山麓を流れる幻の川（岩瀬川）はこの時代は存在していたようです。



元の地図は、土地の形態別にカラー分けられて示されているので、大変わかり易くなっています。興味をお持ちの方は、逗子市池子棧敷戸遺跡調査報告書に記載されていますのでご覧ください。

今問題視されている地球温暖化と地球の長い歴史上の温暖化（海面の上昇）と

の違いは、今の温暖化は人間の産業活動に伴う排出ガスの影響が9割を超えるという人為的な影響が大きいことにあります。1906年から2005年の百年の間に0.74度の上昇がみられ、今後2100年には1.8～4度の上昇が予測されているそうです。しかも蓄積された排出ガスの影響が長期にわたって影響し続けることです。

鈴木 為 之（山の根在住）